

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.02.No222

2月号

## 目次

東西アスファルト事業協同組合より助成金受ける／支援目的を十分に委員会活動に反映……………	1
実行委員会……………	3
青年・女性の窓……………	6
〔No.75 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕	
支部だより……………	7
〔紋別・松山・函館〕	
information……………	8
URL <a href="http://www.h-ab.com/">http://www.h-ab.com/</a>	

## 東西アスファルト事業協同組合より助成金受ける 支援目的を十分に委員会活動に反映

### 【これまでの経過】

東西アスファルト事業協同組合は、それまで全国単位で行われていた広告宣伝事業活動を平成26年から事業エリアごとにその風土や地区性を踏まえた活動として実施されることとなり、地区の主体性をもった活動を推進されることになりました。

初年度の平成26年度は「さっぽろ雪まつり」等の道内のイベント関連に企業協賛名目で活動を実施されました。一方で専門業者団体として目指すべき姿とたち位置、北海道への地域貢献という部分での活動も検討されていた折、函館支部青年委員会主催「木で遊ぼう！マイはし作り体験」のイベントを耳にされ、このイベントに企業協賛・参加をしていただきました。その中で、はし作りを通じて建築士が地域の方々と触れ合い、子ども達にモノづくりの楽しさを伝えている姿が大変印象に残り、団体として目指している地域貢献、また、地域貢献以外の面における建築士会活動を協賛・支援し、本会の発展、ひいては建築業界に微力ながら貢献できるものと考えられて、本会の事業への200万円の助成金のご提案をいただいたものです。

このご提案をいただき、平成27年6月22日(月)に実行委員長会議を開催し、助成の対象となる事業が5つの委員会より提案され10事業が実施することになりました。

■助成対象事業は、下記の10事業です。

委員会名	実施事業名	助成金額
青年委員会	建築士のお仕事体験イベント ～7月1日は建築士の日～	170,000円
	建築士のお仕事体験イベントin函館 (青年道南ブロック協議会)	85,000円
	未来の建築士達とお仕事体験しよう (青年道北ブロック協議会)	80,000円
	未来の建築士達とお仕事体験しよう (青年道東ブロック協議会)	70,000円
	新幹線が運ぶ!! 倶知安のまちを考えよう (青年道央ブロック協議会)	60,000円
女性委員会	建築士による家庭科住教育出張講座	925,000円
被災地応急支援特別委員会	支援活動や訓練を行う際に用いる資機材等の購入	280,000円
会員増強特別委員会	ホンモノを見よう！～製図試験課題の建築見学会～	225,000円
	新規建築士セミナー×免許証授与式	85,000円
地域貢献活動センター委員会	各実行委員会活動パネル作成	20,000円

※次ページに各事業の概要を掲載します。

# 東西アスファルト事業協同組合助成事業の概要

## ◆青年委員会

建築士のお仕事体験イベントを道内5箇所で開催。

青年建築士の集いにおいて倶知安町民と全道各地の青年建築士が、「新幹線駅」をキーワードに「倶知安町の現在と未来」について、みんなで話し合い、みんなで考えた。また、「倶知安のまち」をテーマにパネルディスカッションを行った。

- ・青年建築士の集い（参加者：103名）
- ・建築のお仕事体験in新さっぽろ（参加者：1,495名）
- ・建築のお仕事体験in函館（参加者：144名）
- ・建築のお仕事体験in名寄（参加者：76名）
- ・建築のお仕事体験in稚内（参加者：200名）
- ・建築のお仕事体験in北見（参加者：162名）

「住んでみたい「お家」をつくってみよう」



「ブロックで作った稚内市の街並み」



## ◆会員増強特別委員会

- ・一級建築士試験受験者の応援サポート事業として、設計製図課題の建物の見学会を札幌市で開催した。（参加者：58名）
- ・一級建築士試験合格者のセミナーと免許証授与式を平成28年2月実施予定

## ◆地域貢献活動センター委員会

建築士会活動を、様々な催しでの掲示等に活用するため、実行委員会の活動パネルを作成した。

## ◆女性委員会

会員が道内の高等学校へ出向き出張講座「“私らしい住まい”の設計」を開き、生徒たちに自分の生活スタイルにあわせ、一人暮らしをした場合をテーマに、間取りキットを使用し簡単な住まいの設計を通して住まいや暮らしへの関心を深めてもらい住意識の向上をはかった。

12月末実施状況：4校 13クラス 457名

## 理想の部屋こんなかな

夕張高生 道建築士会と間取り設計



北海道建築士会のオリジナル教材を使いながら、間取りのデザインに取り組む生徒たち

（北海道新聞 2015.10.23 掲載記事）

## ◆被災地応急支援特別委員会

震災時における被災建築物の応急危険度判定等の支援要請に対し、迅速かつ的確な対応が図れる体制作りの一環として、被災建築物の判定及び訓練に用いる安全ベスト・デジタル水平器・吊り下げ名札等を購入した。



## 総務委員会 2期目に臨むこと



委員長  
**西岡 誠** (札幌支部)

建築士会会員の皆様、日々建築士会の活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。このたび総務委員長を再び仰せつかりました。微力ではありますが、建築士会のお役にたてればと思っております。

去年は新国立競技場の設計白紙撤回、そして杭のデータ偽装とネガティブな面で建築、建設にかかわることがメディアに取り上げられ、当事者でないながらも何か後ろめたい気持ちにさせられた一年でした。特に新国立では近しくしていた方が携わっていたこともあり、その苦労が徒労に終わったことを思うと白紙撤回のニュースには心が痛みました。

メディアはどちらかというとながティブな事柄に目を向けがちですが、建築士会の活動では建築士として社会に寄与する多くのポジティブな活動が行われています。総務委員会としまして今まで以上にそれらの活動を下から支える役割を担っていきたいと思います。

建築士会は幅広い年代の方々によって構成されています。しかしながら、活動自体は特定の年代層に頼りがちで、会全体の活動とは言い切れない状況にあるように見受けられます。より広範に年代、性別を問わない活動、あるいは逆に年代、性別にきめ細かな配慮をした活動の在り方というものもあるのではないかと委員会の中で議論を行っております。

多くの建築士の方々に建築士であるがゆえに関わることでできる活動と建築士会の在り方を考え、それを通じ社会に発信する役割を担ってまいりたいと思います。

## 事業委員会

何をしたらよいのか  
何をすべきか



委員長  
**伊藤 隆英** (恵庭支部)

突然、高野会長から電話で就任要請があり、自分(団塊の世代)は年齢的にも無理があるとお断りをしたが、あの強引さと匠の話術に押切られ、とうとう引き受けてしまった次第であります。

私も、建築士会歴は相当長く、若かりし時代は、支部の事務局を務め、建築指導行政の窓口でなれば、半強制的に入会を勧め、会員増強を図り、諸々の支部事業を展開して設立50周年を迎え、現在に至っております。

当委員会の所管事項のメイン事業は、何とんでも当時の寒研がテキストの編集を担当して、建築技術者向けの講習会ではなかったでしょうか。私も数回、受講しましたがその当時は相当数の受講者がおり、北海道における住宅建築技術は飛躍的に向上するとともに高断熱・高気密の北方型の住宅技術の研鑽に貢献し、大変有意義な講習会であったと記憶しております。しかし、近年は年々開催支部も受講者数も激減し、3年前から講習会の見直しを行い、各支部主導にするなど事情に合わせた開催要領を設定するなど支部会員へのサービス向上及び支部活動の活性化の一助となることを期待して、「建築技術講習会」を開催してきましたが、まだ目に見える成果はでていません。これからどうして行くのか、また、どうすれば良いのか、課題は山積しておりますが、今一度、委員会においてじっくりと施策を練りたいと思いますので、会員の皆様のご意見やご要望をお寄せ下さいますようよろしくお願い致します。

## 情報委員会

次号が楽しみになる  
紙面づくりを



委員長  
**早川 陽子** (小樽支部)

今年度より情報委員長を仰せつかりました早川陽子です。どうぞよろしくお願い致します。

情報委員会の主活動は「北海道建築士」の発行とHPの管理です。新委員会は松崎常務理事と7名のメンバーで構成されています。うち6名は継続のベテランさんなので安心しております。

神田前委員長の元では、季節による紙面の色分けや全道大会の「号外」発行など新しい試みに取り組んできました。

今年の目標は

### 次の号が楽しみになる 紙面づくり

- ・タイムリーであること
- ・話題性があること
- ・息抜きが出来ること

さらに、私たちが自ら「取材」に出かける環境を作ってゆきたいと考えています。

もちろん、従来の各報告、特集、活動紹介、ご案内も掲載してゆきますので、皆さまの投稿、ご意見、ご要望、大歓迎です。

これから2年間、メンバーで力を合わせ、お手元にお届けします。どうぞよろしくお願い致します。



2回目の号外発行 (2015年全道大会)

## 青年委員会

元気で楽しい  
青年委員会を目指して

委員長

石塚 尚也 (恵庭支部)



このたび、青年委員長を拝命いたしました、恵庭支部の石塚です。

青年委員会の更なるステップアップを目指し、力の限りを尽くす決意でいます。何卒よろしくお願いたします。

私は「ひろげる・つなげる」というキーワードを活動のテーマとしていきたいと考えております。「ひろげる」とは、建築士・建築士会を一般の方々に知ってもらうということです。他団体・行政・地域と活動を共にし、交流を持つことで、積極的にアピールしていきたいと思っています。

そして、「つなげる」とは、次世代を担う子ども達に建築やモノづくりの楽しさを伝えて、将来につなげていくということです。

昨年、子ども達を対象に「建築お仕事体験」を行った時のことです。小学校高学年の男の子が、私のそばにやってきて「おじさん、とっても楽しかったよ！建築士ってどうやったらなれるの？」と話かけてきたのです。なんともうれしく、頼もしい言葉でした。



イベントの様子

「最近、若者は元気がないねえ」などと言われることもあります。みんなで力を合わせて「元気で楽しい青年委員会」を目指していきましょう！！

よろしくお願いたします。

## 女性委員会 仲間づくり

委員長

工藤美智子 (札幌支部)



昨年まで本間委員長の元、副委員長を務めさせていただき、今期は委員長を仰せつかりました。委員も半数以上が新しい顔ぶれとなります。連絡を密にしスムーズな会の運営を目指します。

道内の活動は、**全道大会分科会**と**女性建築士の集い**の企画・運営。機関紙「北海道建築士」掲載“Hokkaido”の原稿担当です。大会テーマと関連させた内容を企画から立ち上げるのは大変な労力ですが、参加者アンケート結果などから達成感と次への意欲が湧いてきます。また、防災関連活動にも引続き取り組んでいきます。

連合会活動は、**全国女性建築士連絡協議会**への参加と活動発表に向けて準備をします。また、**全国大会女性委員会担当セッション**、**連合会高齢者タスクフォース**への協力も行います。

平成25年度から始まった北海道建設部からの受託事業**建築士による住教育出張講座**は、4年目に入ります。昨年、多方面からの協力もあり全道へ大きく広がりました。すでに、女性委員会の手を離れ、北海道建築士会全体の取組へと移行しています。今年度は、各ブロック・支部での運営体制の可能性を模索したいと考えています。各地域での皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

委員の顔ぶれは大きく変わりますが、それぞれの担当者が協力して、企画・運営・結果報告までを成し遂げるという前委員長の体制は引き継いで行こうと考えています。皆さまのお力添えをよろしくお願いたします。

## まちづくり委員会

各支部まちづくり活動  
の活性化！

委員長

針ヶ谷拓己 (札幌支部)



この度、まちづくり委員長を仰せつかりました、札幌支部の針ヶ谷です。どうぞよろしくお願いたします。

新体制となったまちづくり委員会は7割以上が新任委員。また、昨年3月に北海道から指定を受けた「景観整備機構」としての仕事が本格的に動き始めることから、私自身、とても不安ではありますが、反面、何か新しいことのできるきっかけになる気もしております。まちづくり委員会の諸先輩たちに残していただいた事業を継承しつつ、そこに何か新しいことをplusしていくことができると考えております。

さて、まちづくり委員会の今期事業方針は、「まちづくり活動の推進、アピール・・・。そして建築士(会)のブランド力アップ」と掲げさせていただきます。今年度は、各支部まちづくり委員会等との連携を強め、各支部で行われているまちづくり活動を把握することを第1とし、その活動事例を各支部へフィードバックすることにより、全道各支部のまちづくり活動をより活発化させていくことができると考えております。併せて、「地域社会」や「行政」から、好感を得られるような、まちづくり活動を、広く社会へアピールすることにより、建築士(会)のブランド力アップに微力ながら貢献していきたいと思っております。

現在は全道各地の代表者が集まっただけの「グループ」に過ぎませんが、1年後そして2年後には、より良い活動が実践できる「チーム」となるよう、委員長として務めていきたいと存じます。

地域貢献活動センター委員会  
助成金を  
Getしよう！

委員長  
本間 恵美 (小樽支部)



今年度より地域貢献活動センター委員会の委員長をさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお祈いします。

**Q：地域貢献活動センターとは？**

A：地域社会の発展に寄与する目的で建築士会会員が参画する地域貢献活動を支援し、その活動費を補助します。

**Q：対象事業は？**

A：次の9つのテーマに沿う事業です。

- 1 歴史的資産の保全・再生・活用
- 2 景観の保全・再生
- 3 居住空間の保全・整備
- 4 自然環境の保全・整備
- 5 福祉環境整備
- 6 防災活動や防災施設の整備
- 7 子どもの住教育やまちづくり教育
- 8 建築やまちづくりによる地域活性化
- 9 その他、活動センターが地域貢献活動と認めるもの

**Q：参画する建築士の人数は？**

A：継続して3年以上の会員2名以上の参画が必要です。

**Q：募集の期間は？**

A：1月～9月末までです。

**Q：助成の金額は？**

A：一件の限度額 20万円までです。(但し、予算の範囲内で審査委員会が決定した額)

地域の人たちとこんな活動がしたい。でも活動資金が無い・・・という会員の皆様、事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。様式のダウンロードができるとともに、今までの助成事業をご紹介します。

地域の方々と活動をすることで大いに建築士会をアピールしましょう。ご応募お待ちしております。

heritageマネージャー特別委員会  
3年目の  
heritage

委員長  
関川 修司 (北広島支部)



北海道建築士会の中にheritageマネージャー特別委員会が設けられて今年で3年目を迎え、函館支部山内委員長のあとを継ぐことになりました。年々多くの方が受講してくれました。これは、会員の皆様の関心の高まりの表れと嬉しく思っております。

本委員会は、地域に残る遺産を保全保護し、地域の為に利活用していただくことが目的で、heritageマネジメント講座は、その一つの手段でしかありません。

地域資産・古建築物と言っても、地域の方々にとっては、身近すぎるのか、あまり興味を持っていただけませんが、昨年調査を行った無形文化財＝「太子講」では、参加している建築士会員の「永く続いているんだ。何とか百年までは頑張るんだ」との思いには感動させられました(太子講は、百年近く続いている)。更に太子講のおまつりは、ひとり太子講員だけでなく、すでに地域のおまつりになっていることにも深く感動させられました。長年古建築物を調査して来ましたが、あらためて身に沁みだことでした。

古くて歴史のあるモノ・コトの大事さは、身近に住んでいる地域の方々で無いと理解できないことが沢山あります。他の地域の方には理解できません。地元の方・地域の建築士会員で無いと守れません。保全保護の費用を小さく出来るのも、地域の建築士会員であればこそその技です。

全道の建築士会の皆様、建築事象を理解し、手を携えて地域資産を保全保護し、明日への活力にしようではありませんか。

被災地応急支援委員会  
被災に備えて  
準備をしませんか

委員長  
牛田 健一 (札幌支部)



平成24年にスタートした検討部会から特別委員会へと替わり4年間委員会を担当して来ましたが、今年度から若手へ交代とと思っておりましたが、働きが足りなかったため会長から再度汗をかく様に厳命されました、2年間ご協力をよろしくお祈いいたします。

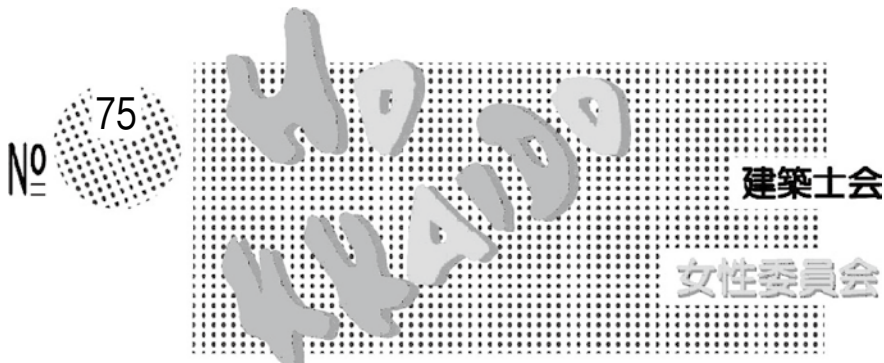
さて、4年間の活動としましては、「被災地応急支援ネットワーク」の設立と応急危険度判定資格者会員の登録、「北海道建築士会震災建築物応急危険度判定支援要綱」の制定、行政との連携の強化等があります。

ネットワーク設立後は、多くの判定資格者会員の皆様にご協力いただき200名近い連絡網が整備されましたが、広い北海道を考え全会員1割の400名の登録者を目標としております、ホームページから登録は随時受け付けておりますのでまだの方は是非登録を!!

支援要綱では、被災を受けた建物に対して本会が迅速な対応を図る事を目的として制定しました。

行政との連携では、道が行っております判定訓練に協力団体として加わり、会員の積極的な参加を進めていますし、コーディネーター研修へ民間からの参加を推進していきます。

「災害時応急危険度判定活動連携協定」の推進につきましては、昨年恵庭支部が恵庭市と再度締結を行いましたし、札幌支部も近々札幌市と締結の予定です。他支部におかれましても市町村との締結について積極的な検討をお願いいたします。災害は無い方が望ましいですが、万が一に備えて建築士としての社会貢献に会員の皆様のご協力をお願いいたします。



## 道央Aブロックセミナー

西條 明美 (小樽支部)

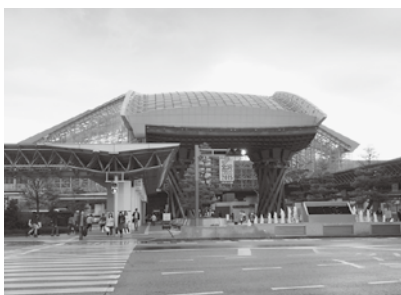
### 「アテネ・パルテノンと スウェーデン・デンマーク の水辺の建築」

講師：駒木定正氏

(北海道職業能力開発大学校特任教授)

## 全国大会報告

連合会委員 東 道尾 (札幌支部)



10月30日(金)、第58回全国大会石川大会が金沢市で開催されました。今春に北陸新幹線が開通した影響で、金沢市内は大規模なイベントが目白押しらしく、駅前の鼓門周辺は大変な混雑でした。せっかくの機会なので、今回は東京から北陸新幹線で移動してみました。揺れも少なく静かな車内で、久しぶりに列車の旅を満喫。大会前日には、連合会委員をはじめ、旧委員、開催地の女性委員と懇親会を開き、交流を深めて翌日への英気を養いました。

大会会場は、JR金沢駅と直結しており、もてなしドーム、イベント広場、県立音楽堂、邦楽ホール等の施設を使い、雨に濡れずに移動ができました。

交流セッションは昨年と同様、まちづくり、青年、女性3委員会合同開催となり、テーマは「未来につなぐまちづくり」。午前中の「交流セッションa」は、女性委員会永井香織委員長より、7月に開催された第25回全国女性建築士連絡協議会から、初代委員長の村上美奈子氏の基調講演とパネル

ディスカッションの報告。引き続き午後からは、「交流セッションb」3委員会合同パネルディスカッションを開催。女性委員会からは、小野全子、本間恵美両連合会女性委員会副委員長がパネラーとして登壇しました。



今回の私の役割は、会場受付と福島県女性委員会が発行している冊子販売のため、セッションの様子は会場から漏れ聞こえる音声のみ・・・委員が手分けしてそれぞれの役割を受け持ち、無事に終了することができました。詳しい内容は会誌『建築士』2月号をご覧ください。

大会終了後は、雨に濡れながら茶屋町や武家屋敷跡を散策。念願だった21世紀美術館のプールも見学できました。加賀百万石の歴史ある城下町ですが、新しい建物と歴史的建造物が自然を介して融合している街並みが心地よく、リフレッシュして帰ってきました。



#### ◆アテネ・パルテノン

パルテノン神殿の、彫刻の装飾部分はイギリス (British Museum) にあり、とても残念に思いますが、現在神殿は復旧工事中と聞き、安心しました。ギリシャの政治・経済が1日も早く安定して、昔の神殿の姿を見せてもらいたいと願っています。

#### ◆スウェーデン・マルメの港

小樽と同じぐらいの規模の町、あえて使われていなかった港周辺に庭と運河付き低層住宅や近代的な集合住宅の地域を形成し、港の反対側には海水浴場や緑地帯を設け魅力的な町並みが創られています。住宅街の道路はT字路を作り車の速度を下げることで、歩行者の安全を守る配慮がされていることを聞き、感心させられました。

#### ◆デンマーク・コペンハーゲン

目にすることの無い変わった建物、それぞれが主張しているようで、調和して見えるのは洗練されたデザインのおかげのようです。スライドの中で、駒木先生が飛行機の上空より撮影された、「アテネ」と「マルメ」の町の写真は、どんな地図よりもリアルで、私も実際に目にしたいと強く感じました。



## 紋別支部

### 全道大会紋別大会の余興演奏について

事務局員

高桑 知之



昨年、紋別初の全道大会では皆様のご参加、ご協力ありがとうございました。新年を迎え、紋別大会事務も落ち着いてきました。大会後、懇親会の余興はどのような関連で呼んでいるのか質問がありましたので、今回はそのことについて紹介させていただきます。

元々私自身中高と吹奏楽部に所属しており、現在も地元の楽団にて紋別市民が音楽に親しめるよう

演奏活動を3年前から行っています。その縁で東京プラススタイルさんの公演実行委員になっていたため、今回の余興を企画することになりました。彼女らは3年前から紋別で公演していただく他、市内小中高吹奏楽部と交流指導をする放課後プロジェクトを実施。女性のみとは思えないパワフルなサウンドと圧倒的なパフォーマンスで国民的アニメソング等の名曲を魅力的に演奏。紋別の学生に音楽の見せ方、楽しみ方、新たな目標などを教えていただきました。

本来は最終日の公演がメインの

来紋でしたが、建築士会全道大会の懇親会等3公演、学校訪問5校への指導なども行っていただきました。3日間で11公演と多忙なスケジュールのため、満身に演奏できなかったかもしれません。しかし、全道の皆様からの評判も良く、改めて今回の企画に携わることができて良かったと実感しました。

紋別大会は悪天候で寒い中でしたが、余興の演奏では熱気に包まれて終演できたと思っております。紋別支部をよろしく願い致します。

## 桧山支部

### 江差町にまちづくりフォーラムがやって来た

支部長

若浜 崇



我が江差町は人口減少が進むばかりで、手の打ちようがない状態だったところに、本部からまちづくり委員が来てくれました。「歴まち通り」を教育委員会学芸員の説明で姥神大神宮・横山家・旧中村家・桧山爾志郡役所等を小雨の中、見学し、会場の町会所で江差町歴まち商店街共同組合の取り組みの説明。これまでのまちづくりフォーラムの活動報告の「第1回

フォーラムin士別」「第3回フォーラムin滝川」の説明の後、ディスカッションで「私の移動履歴から考えるまちづくり～地元・Uターン・Iターン」・・・の意見・感想は、江差の人は、良く言えば「世話好き」悪く言えば「お節介」なところがある。良いところは、遊びに来た人に対し、すぐになじんで受け入れる。人懐こく親切。地域の文化・歴史をもっと生かし、自分も楽しみながら江差の良さを発信して行く。国体誘致の際「ヨットは分からないけどゴミ拾いなら出来る」と言ったことが評価され

た素直に自分の出来ることを言うてやるのが大事。地域の財産を見つけることは大事だが人が人を作ることも大事。幅広く頑張りたい人一步踏み出したい人の背を押す仕組みをつくりたい。などたくさん意見が出ました。

まちづくりの感想は、江差はJRとバスとの連携が悪いので簡単に来られない。「驚き」を与えるまちの素晴らしさを武器として頑張りたい。など貴重な意見をいただきありがとうございました。

## 函館支部

### 平成27年の活動を振り返って

常任理事

工藤 誠



平成27年も精力的な活動を展開した函館支部。

3月には空き店舗や空き家が目立つ千代台・中島町の活性化を目的に地区の空き家調査を行い、市の担当者や地区の町内会長、各種専門家や若手建築士などを交えたパネルディスカッションを行いました。官民一体となって函館市の未来への提案を行うこの取組は新聞でも取り上げられ建築士会の大

きなPRとなりました。

また同じく3月には「木で遊ぼう！マイ箸作り体験」と題した箸作りイベントを行いました。青森ヒバの角棒を専用の治具とかなで削り、塗料で着色し、オリジナルの箸を作ってもらいました。子供たちがものづくりの楽しさを知り、将来の建築業界の担い手になってもらいたいという思いで取り組んだイベントでした。

7月には「建築のお仕事体験in函館」と題して、本部青年委員会が札幌市で行っていた建築のお仕事体験イベントを札幌市以外で初

めて行いました。

8月の青函桜交流会では、現在石垣修繕工事中の弘前城の曳家工事を見学しました。

他にも、建築士の日には支部恒例のビアパーティー、函館アリーナなどの各種現場見学会、会員増強を目的とした新規合格者を祝う会などを行いました。

平成31年の全国大会北海道大会の開催地に立候補した函館支部。

今年も函館支部らしい活動を展開していきたいと思っております。

一般社団法人 北海道建築士会 平成28年・29年度実行委員会

委員会 (人数)	総務委員会 (8名)	事業委員会 (7名)	情報委員会 (8名)	青年委員会 (10名)	女性委員会 (10名)
委員長	西岡 誠 (札幌)	伊藤 隆英 (恵庭)	早川 陽子 (小樽)	石塚 尚也 (恵庭)	工藤美智子 (札幌)
副委員長	大原 公子 (札幌) 鈴木 徹 (十勝)	内海 純一 (札幌) 今井 正道 (恵庭)	斎藤 勝哉 (旭川) 森 勝利 (日高) 高松 徹 (上富良野)	原 一彦 (旭川) 工藤 誠 (函館)	新海 直美 (札幌)
委員	山田 良彦 (函館) 岡田 光弘 (旭川) 酒井 一誠 (石狩) 飛澤 隆洋 (網走) 高橋 幸二 (日高)	小松 憲一 (室蘭) 祐川 信明 (留萌) 西岡 宏之 (恵庭) 飯高 清嘉 (十勝)	熊谷 智 (苫小牧) 柏倉 晶憲 (土別) 柳山美保子 (札幌) 鈴木 雅人 (釧路)	丹波 泰哉 (千歳) 朝倉 友和 (函館) 大浦 昌浩 (宗谷) 伊井 崇史 (中標津) 小林 祐司 (札幌) 渡辺 淳 (室蘭) 鈴木 光彦 (紋別)	東 道尾 (札幌) 鈴木 彩恵 (札幌) 岩崎 美乃 (函館) 神部 絢子 (空知) 稲場めぐみ (室蘭) 藤井 洋子 (旭川) 須藤志津子 (釧路) 林 和恵 (北見)
委員会 (人数)	まちづくり委員会 (7名)	被災地応急支援委員会 (7名)	会員増強特別委員会 (9名)	ヘリテージマネージャー特別委員会 (4名)	地域貢献活動センター委員会 (4名)
委員長	針ヶ谷拓己 (札幌)	牛田 健一 (札幌)	高野 壽世 (札幌)	関川 修司 (北広島)	本間 恵美 (小樽)
副委員長	清水 浩史 (旭川) 浅沼 直樹 (札幌)	池田 浩司 (札幌) 小町 美穂 (札幌)			
委員	若浜 崇 (松山) 北野 学 (名寄) 山田 直登 (空知) 高橋 真実 (北見)	三嶋 克昭 (日高) 土田 浩貴 (上富良野) 金谷 祐 (小樽) 三坂 和靖 (北見)	吉木 隆 (札幌) 鈴木 基伸 (札幌) 庵 敏幸 (北見) 石川 吉博 (旭川) 山内 一男 (函館) 西岡 誠 (札幌) 石塚 尚也 (恵庭) 工藤美智子 (札幌)	杉山 友和 (札幌) 川原 昌彦 (札幌) 安達あけみ (札幌)	針ヶ谷拓己 (札幌) 石塚 尚也 (恵庭) 工藤美智子 (札幌)

道士会の動き

道本部の主な行事予定 (2月)

- ◆第1回 女性委員会 (開催日) 2月13日(土)
- ◆第1回 総務委員会 (開催日) 2月27日(土)
- ◆建築士免許交付式 (開催日) 2月20日(土)

関係機関等会議出席状況 (2月)

- ◆北海道赤レンガ建築賞表彰式 (札幌) 高野会長出席  
(開催日) 2月4日(木)
- ◆建築士試験業務連絡会議 (東京) 岡本事務局員出席  
(開催日) 2月5日(金)
- ◆北海道公共建築設計懇談会 (札幌) 高野会長出席  
(開催日) 2月10日(水)
- ◆B I S 認定制度運営委員会 (札幌) 鈴木専務理事出席  
(開催日) 2月18日(木)
- ◆全国まちづくり委員長会議 (東京) 針ヶ谷まちづくり委員長・  
(開催日) 2月19日(金)・20日(土) 佐藤まちづくり連合会委員出席
- ◆全国建築士会職員会議 (東京) 鈴木専務理事・秋吉事務局次長出席  
(開催日) 2月25日(木)

CPD認定プログラム(1月認定)

- ◆平成27年度北方型住宅技術講習会  
(日程及び会場) 平成28年2月4日(木)  
13:30~16:00  
網走市 他5会場  
(単位数) 3単位  
(問合せ先) (一財)北海道建築指導センター  
TEL 011-241-1893
- ◆くしろ省エネ住宅セミナー  
(日程及び会場) 平成28年2月19日(金)  
13:30~16:00  
釧路市生涯学習センター  
(単位数) 3単位  
(問合せ先) 釧路総合振興局建設指導課  
TEL 0154-43-9192
- ◆高齢者等住宅改善講演会・実務者研修会  
(日程及び会場) 平成28年2月20日(土)  
講演会: 10:00~12:00  
研修会: 13:00~17:00  
旭川市生涯福祉センター  
(単位数) 講演会: 2単位 研修会: 4単位  
(問合せ先) 旭川市都市建設部建築指導課  
TEL 0166-25-8597

編集後記

2月は陰暦で如月(きさらぎ)。寒さが増し衣を更に重ねる季節ですね。今月号は寒さを吹き飛ばすホットな話題が満載で、トップは東西アスファルト事業協同組合様からの助成事業報告です。各実行委員会の活躍をご覧ください。また、新委員会の構成が決定し多くの参加型事業が計画されています。「きさらぎ」は気候が陽気に向かう「生更木」でもあるので、フレッシュで明るい2月号になりました。

情報委員長 早川 陽子

情報委員会委員長/早川 陽子  
副委員長/斎藤 勝哉・高松 徹・森 勝利  
委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人  
柏倉 昌憲

北海道建築士 No.222号

印刷 平成28年1月/発行 平成28年2月  
編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL http://www.h-ab.com/  
印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番